



平成 29 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 ハイアス・アンド・カンパニー株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 濱村 聖一  
(コード番号：6192 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 執 行 役 員 西野 敦雄  
経 営 管 理 本 部 長  
(TEL. 03-5747-9800)

### 新株式発行等に関する資金使途変更に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月 28 日付「新株式発行及び自己株式の処分並びに株式売出届出目論見書の訂正事項分」(以下、「本件公募増資等」という。)に記載いたしました「新規発行による手取金の使途」(以下、「資金使途」という。)について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 変更理由

当社は、新規上場の際に、既存商材のバージョンアップ(機能追加等)や新商材開発に係るソフトウェア投資、管理機能強化(販売管理・会員管理等)を目的とした基幹システムへのソフトウェア投資、当社内セミナールームの拡張や人員増に伴う事務所スペース拡張に伴う建物附属設備等、財務基盤の安定性の向上等を目的とした借入金返済資金、当社連結子会社である株式会社 a n s への投融資資金(全額を新規出店資金に充当)、当社取扱い商材のブランド認知度向上を目的とした広告宣伝費に充当するため、公募増資等を実施いたしました。

当社グループは新規上場後順調に業容拡大しておりますが、事業環境の変化に伴い、資金使途の一部を見直すことといたしました。主な変更は、既存商材のバージョンアップや新商材開発に係るソフトウェア投資について、継続的な投資を行いつつも、その有用性や効果を十分に検証し、より適切な時期にリリースすることを慎重に判断することとしたほか、株式会社 a n s の新規出店については、熊本地震の影響を受けた既存店の評価・検証状況を鑑み、改めて出店時期を見直すことといたしました。

#### 2. 変更の内容

本件公募増資等にて記載いたしました資金使途の変更は以下のとおりであります。

##### 【変更前】

##### 5 【新規発行による手取金の使途】

##### (2) 【手取金の使途】

上記の手取概算額 400,780 千円及び前記「1 新規発行株式」の(注)3に記載の第三者割当増資の手取概算額上限 60,965 千円については、既存商材のバージョンアップ(機能追加等)や新商材開発に係るソフトウェア投資として 84,000 千円(平成 29 年 4 月期: 32,000 千円、平成 30 年 4 月期: 52,000 千円)、管理機能強化(販売管理・会員管理等)を目的とした基幹システムへのソフトウェア投資として 30,000 千円(平成 29 年 4 月期: 10,000 千円、平成 30 年 4 月期: 20,000 千円)、当社内セミナールームの拡張や人員増に伴う事務所スペース拡張に伴う建物附属設備等として 33,000 千円(平成 29 年 4 月期: 27,000 千円、平成 30 年 4 月期: 6,000 千円)、財務基盤の安定性の向上等を目的とした借入金返済資金として 61,118 千円(平成 29 年 4 月期: 47,206 千円、平成 30 年 4 月期: 13,912 千円)、当社連結子会社である株式会社 a n s への投融資資金として 80,000 千円(平成 29 年 4 月期: 32,000 千円、平成 30 年 4 月期: 48,000 千円)、当社取扱い商材のブランド認知度向上のための広告宣伝費として平成 29 年 4 月期に 145,000 千円充当する予定であり、残額については、平成 30 年 4 月期の広告宣伝費の一部として充当する予定であります。

なお、株式会社 a n s は、当社からの投融資資金の全額を新規出店資金(平成 29 年 4 月期: 32,000 千円、平成 30 年 4 月期: 48,000 千円)に充当する予定であり、具体的な充当時期までは、当社預金口座にて適切に管理いたします。

また、上記調達資金は、具体的な充当期間までは、安全性の高い金融商品等で運用する予定であります。

**【充当状況及び変更後の内容】**

変更前に計画しておりました資金使途額については、既存商材のバージョンアップ（機能追加等）や新商材開発に係るソフトウェア投資として 23,965 千円、当社内セミナールームの拡張や人員増に伴う事務所スペース拡張に伴う建物附属設備等として 27,000 千円、財務基盤の安定性の向上等を目的とした借入金返済資金として 47,206 千円、当社取扱い商材のブランド認知度向上のための広告宣伝費として 145,000 千円をこれまで充当しております。

未充当の 218,574 千円のうち、当社内セミナールームの拡張や人員増に伴う事務所スペース拡張に伴う建物附属設備等 6,000 千円、財務基盤の安定性の向上等を目的とした借入金返済資金 13,912 千円、広告宣伝費 28,627 千円につきましては、当初計画どおり平成 30 年 4 月期において充当予定です。残額については、平成 30 年 4 月期以降の既存商材のバージョンアップ（機能追加等）や新商材開発に係るソフトウェア投資として 60,035 千円、管理機能強化（販売管理・会員管理等）を目的とした基幹システムへのソフトウェア投資として 30,000 千円、当社連結子会社である株式会社 a n s への投融資資金（全額を新規出店資金に充当）として 80,000 千円を充当する予定であります。これらの具体的な充当期間については未定であります。

3. 今後の見通し

本変更による業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、開示の必要性が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上